

ウェルび～な通信

創刊号

～ずっと海老名で暮らしたいプロジェクト～

ごあいさつ

海老名市では「障がい者も安心して暮らせる地域づくり」を基本理念とし、障がい者が地域の一員として尊重され、安心して自立した生活を送ることができるよう、ハード面、ソフト面の両面から障がい福祉事業の強化を図っております。

海老名市自立支援協議会では、障がいを持つ方が暮らす上での地域の課題やニーズを取り上げ、地域のネットワークで解決することを目的に活動されており、この度発足された「チーム広げる」は、自立支援協議会の活動内容や海老名市の障がい福祉について情報を発信し、地域の方一人一人が障がい者への支援について考え、理解を深めることを目指し設立されました。

今後、「チーム広げる」の広報活動を通じ、市民の皆様には障がい福祉についてより身近に感じてもらえるよう、皆様のご活躍を祈念して創刊のあいさつとさせていただきます。

平成 27 年 8 月

海老名市長 内野 優



海老名市自立支援協議会について

海老名市にお住いの障がいのある方とご家族が、「ずっと海老名で暮らしたい」と思えるよう、関係機関や団体がネットワークを形成し、福祉サービスのより一層の向上を目指して活動をしています。

協議会は、30 を超える関係機関や団体で構成されています。また、生活場面やライフステージに応じた課題に取り組むための専門チームも有しています。

詳しい取り組みについては、ホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

「地域活動支援センター 結夢（ゆうむ）」のホームページ内にあります。

<http://www.hoshiyakai-yumu.com/jiritsu.htm>

自立支援協議会が開催されました

5月22日に今年度、第1回目となる自立支援協議会が開催されました。冒頭、内野市長よりご挨拶をいただき、その後、会長の選出や、各チームの活動報告、サービス等利用計画について、報告が行われました。

会長：安藤 浩己（星谷会 理事長）
副会長：杉村 俊夫（障がい福祉課 課長）

主な議題

- ・各チーム活動報告
- ・相談支援事業実績報告
- ・サービス等利用計画について など



市長ごあいさつ



「ずっと海老名で暮らしたい」

人は誰でも自分の望みを実現し、ささやかながらも納得のいく生き方を求めています。しかし、身体や心に何らかの障がいのある人たちは、地域の中で自分らしく生きていくことがとても難しいのです。そのような人たちの地域生活を支えるために、自立支援協議会が設置されました。協議会のもとには複数のチームやプロジェクトが設けられ、ずっと海老名で暮らしたいと思うような地域をめざして、当事者団体をはじめ行政機関、福祉サービス事業者などが話し合いや活動を続けています。

海老名市の特徴は、多くの当事者の皆さんが参加していることです。「我々のことを我々抜きで決めるな」というスローガンは、国連の障害者権利条約のものですが、私たちの自立支援協議会もそうありたいと願っています。

海老名市自立支援協議会 会長 安藤 浩己

頑張ってます！事務局!!



自立支援協議会の運営を支える事務局、谷岡さんにインタビューをさせていただきました。

Q：事務局として「がんばっている」とことと「苦労している」ことを教えてください。

A：海老名の自立支援協議会はスタート当初より、行政・当事者団体・事業所などの関係機関が良好な関係性を持って連携し文字通り協働してきました。そのネットワークを維持し地域のさまざまな力を結集していくことが事務局の「がんばるべき」ところだと思っています。ただ、皆さんが本職の傍らで活動して下さっている協議会ですので、協議会から生まれた各種の成果物（リーフレットや冊子類）のこの先の管理方法や予算的な問題が課題です。

Q：事務局として「今後力を入れたい」ことを教えてください

A：協議会がこれまで積み重ねてきた活動を広く市民の皆様に知っていただき、さらに地域のたくさんの力を巻き込んで、誰もが住みやすい、「ずっと海老名で暮らしたい」と誇れる地域を作っていきたいと願っています。



事務局のみなさん

ラジオはじめます



FM カオンのご協力により、9月から海老名の福祉をテーマにした番組がはじまります。海老名市の障がい福祉の現状や今後の活動について、情報をお届けします。ぜひ、聴いてみてください。

放送時期：9/7（月）～10/9 ※土・日曜日除く

番組名：「ラジオ・ウェルび～な通信

—電波にのって遠くまで—

時間：午前 10 時 45 分頃～午前 10 時 55 分頃

放送局：FM カオン（84.2MHz）

※ラジオ以外に、パソコン、スマホ等でも視聴できます。

詳しくは、FMカオンホームページでご確認ください。



ウェルビーな通信について

「ウェルび～な通信」の意味は、福祉を意味する「ウェルフェア (welfare)」と海老名を連想させる「び～な」を合わせて生まれました。

海老名市の福祉に関する情報が、広く市民の方に届けたいという思いが込められています。

発行元：海老名市自立支援協議会チーム広げる

事務局：地域活動支援センター結夢

TEL 046 (235) 2704